

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:2024年 2月 29日

事業所名 放課後等デイサービス きぼう東岩槻

		チェック項目	はい	どちらとも書えない	いいえ	工夫している点
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4		1	十分に支援が行えるよう、室内を部屋で区切る等して対応しています。
	2	職員の配置数は適切である			4	職員ごとのスキルや活動を工夫し日々の活動を安全に行なっていますが、もう少し手厚い支援を行えるよう人員の補充については考えております。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		1	4	玄関や細かい段差がありますが、支援への支障はありません。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5			職員個人の個別目標を立て定期的な面談等を通して改善や目標立案を行なっています。また、毎月の会議にて、職員間で話し合う時間を設けています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5			保護者面談やイベント事に対するアンケートなどを使用し、保護者様の意向を把握し、支援等に取り入れています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4		1	HPIにて公表しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		2	3	外部評価は受けておりませんが、事業所間で客観的に見て業務改善に繋げています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4		1	外部での研修を意欲的に行かない、研修の内容を事業所内で共有しています。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5			計画更新時、児童や保護者様への要望を基に職員間で会議を行い、作成しています。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5			JSI-Rや遠城寺式等を用いて把握を行っております。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4		1	日替わりでリーダーを決め、活動を決めています。他の職員との相談も随時行なっております。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5			同じ公園が重なる事が無いよう留意したり、その日の様子によって、個人の活動の目標を変更しております。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4		1	スモールステップ等を設定し、利用時間に合わせた活動内容を検討しています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5			児童の特性を把握し、一日の中で個別と集団の時間を設けております。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5			毎日活動前に打合せを行い、支援に臨んでおります。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5			毎日送迎後に振り返りの時間を設け、活動や支援の振り返りの時間を作っています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5			振り返りの時間に他者に分かりやすく伝えるよう記録に残し、支援の評価や改善を行なっています。
関係機	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5			適宜行っています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	4		1	ガイドラインにのっとり、日々の支援をしています。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5			管理者や児童発達管理責任者が会議に参加しています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	4		1	学校への送迎時などに様子を伺ったり、必要に応じて学校へ連絡する事で連携を図っています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている			5	現在医療ケア児の受け入れは行なっておりません。
23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	1		1	2	今年度連携をする事がありませんでした。来年度は、訪問のサービスも含め、連携を取るよう留意してまいります。

関 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	2		2	状況に応じ、提供しております。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	2	1	岩槻区全体の事業所が関わっている子ども部会等を通じ、研修などに参加させて頂いております。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2		1	今年度近隣学童との交流イベントを計画しておりましたが、予定を合わせる事が出来ませんでした。児童館等は外出活動を通して伺わせて頂いております。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	2		1	参加しております。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4			送迎時や連絡帳、必要に応じてLINE等のツールをとおして、ご家族から聞き取りを行っております。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っている	2		2	今年度、保護者向けの研修の機会は設けましたが、来年度は外部研修でペアレントトレーニングの研修を受講し、さらに回数を増やしていこうと考えております。
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4			契約時にご説明し、気になる点等がございましたら随時相談を受け付けております。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4			保護者様からのご相談があり次第、すぐに対応できるよう、LINE等のツールを駆使し、相談や助言を行っております。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4			保護者参加型イベントや保護者研修の機会を設けております。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4			苦情があった際の窓口を管理者とし、速やかに対応しています。また、その都度再発防止会議を開き改善に努めてまいります。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4			定期的に『きぼう便り』を発行し、発信しております。
	35	個人情報に十分注意している	4			鍵付きのロッカー等を用い管理しております。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4			相手によってジェスチャーや、マカトンサインを用いるなどして意思の疎通を図っております。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		2	2	今年度、近隣学童への声掛けは行いましたが、実現は出来ませんでした。来年度、日程を調整し、開催できる様、企画して行きます。
非 常 時 等 の 対 応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	2	1	1	マニュアルがあり、すぐ手の届く場所に掲載しております。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4			定期的な避難訓練を行っております。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3	1		外部・内部研修を行っております。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	3		1	契約時に同意書を頂いております。現在、利用している児童に身体拘束は不要だと考えておりますので、必要性が出てきたときには支援計画に記載致します。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	1		3	指示書は頂いておりませんが、必要に応じて薬をお預かりしたり、通院結果を保護者様から伺うようにしております。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3		1	全事業所で共有し、職員がすぐ目にする事が出来る場所にて保管、管理しております。	